

山梨県立博物館 山梨県教育委員会

みんなで作る博物館 甲斐路を歩む

「かいじあむ（甲斐+ミュージアム）、県教委の取組」

【山梨県立博物館と教育委員会の取組】

山梨県立博物館、山梨県教育委員会では、学校との連携事業での取組として、学校の教育課程の中での利用を促進し、定着が図れるよう、「博物館活用研究会」の実践や教育委員会が主催する各種研修会において教員対象に博物館等の教育プログラムを紹介している。

①「かいじあむティーチャーズクラブ」

平成17年度まで「博物館活用研究会」として、指導主事、教育センター、各教育事務所より推薦のあった教員の中から連携の方策を検討する委員会を組織していたが、平成17年10月に開館し、多くの来館者を受け入れる体制が整い、連携も今まで以上に幅広く呼びかけるようになってきた。そこで平成18年度より広く（公募で）学校教員を募集し、



「かいじあむティーチャーズクラブ」として研究会を発足させた。この研究会は、博物館を活用した授業実践を蓄積し、学校現場での博物館活用を促すことを目的としている。会員数は、小学校14名、中学校18名、高等学校・その他が21名の計53名である（平成22年2月末現在）。活動内容としては、年2回の研究会の開催、夏季研究会、「博物館活用事例集」の発行等である。

②山梨県教育委員会の取組

県教育委員会では、事務局（義務教育・高校教育他）・教育センター・県立博物館の担当で構成する博学連携推進連絡会を年2回開催し、推進のための連絡調整を行っている。学校教育主管課主催の校長・教頭研修会等において、博物館の説明を行うとともに、博物館活用の働きかけをしている。また、指導主事の学校訪問等で博物館を利用した学習活動及び学芸員等の人材を活用することによる教育効果を紹介している。また、基本計画に博物館と学校の連携に関する数値目標を設定し、実現に向けて県立4館（美術館・文学館・博物館・考古博物館）の連携を推進するとともに、4館を学校に活用していただく内容の啓発資料「『総合的な学習の時間』の一層の充実のために美術館・博物館等を利用してみませんか」というパンフレットを毎年10,000部作成し、平成18年から県内小中高の教員へ配布している。

【学校との連携事業の実際】

山梨県立博物館では、「かいじあむティーチャーズクラブ」の取組以外にも、学校との連携をすすめるために、以下の取組を実施している。

①「かいじあむミュージアムキット」

教室にいながらにして歴史が体験できるように工夫された学校用の貸出し資料を用意している。原則2週間以内の貸出し期間で、「戦国キット」、「江戸時代キット」、「旅姿キット」や「かいじあむ歴史かみしばい」等が用意されている。社会科等の教科、総合的な学習の時間、特別活動、クラブ活動等、学校での様々な授業や活動に活かすことができるよう工夫されている。また、博物館見学の事前・事後指導の教材としても利用されている。

②「山梨の未来を描こう！」

常設展示「共生する社会」には、子どもたちによる「未来の山梨」の絵を紹介するコーナーがある。県内の小中学生が描いた「わたしが思う未来の山梨」約70点が展示されている。「どんどんきれいになっていく山梨」、「何年経っても、何十年経っても、とっても便利になってきれいな富士山や湖の景色は変わらないでいてもらいたい」、「誰もが快適に過ごすことができる」ところ等、小中学生の豊かな想像・表現力で、郷土に対する思いや希望が現れている展示となっている。



【成果と課題】

- 研究会の取組等により、子どもたちに対し学習効果の向上が図られた。
- 数値設定の達成に向けて、学校との連携の推進を図るとともに、博物館利用者を増やすための手だてが必要である。
- 課題としては、交通手段の確保があげられる。館からの最寄り駅は、石和温泉駅であるが、駅から遠距離のところには館があり、バス等の利用が必要になる。しかし、高速道路のインターチェンジから近いことから、県外の学校の利用が増えている状況である。

《施設データ》

館名：山梨県立博物館
所在地：〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
電話：055-261-2631
FAX：055-261-2632
設置年：平成17年10月15日
設置主体：山梨県教育委員会
ホームページ：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/index.html>
入館者数：平成20年度 97,542人

